

## アジア視察報告<5>

視 察 項 目	物流拠点における国際化
視 察 日 時	2016年10月21日（金） 午後4時00分～5時00分
視 察 先 名	ダナン市（表敬訪問等）
説 明 者	Huynh Duc Tho 氏（Chairman of People's Committee of Da Nang City）他9名
担 当	坂本 茂、浅野 文直、矢沢 孝雄

### 【はじめに】

ダナン市はベトナム5大都市の1つであり、ベトナム中部における経済・文化等の中心地である。近年、同市の経済は堅調な高い水準を維持しており、生活水準の改善、インフラ開発、都市の景観の変化が著しく、今回の視察では最もダイナミックな経済成長を感じた都市であった。同日に実施したダナン港の視察において、川崎港とダナン港の定期航路新設に関する内容、東西経済回廊の効果と課題など、多くの内容について意見交換を行うことができた。

ダナン市表敬訪問にあたっては、港湾を通じた両市の交流に加え、2018年に日越外交関係樹立45周年を控えるタイミングでの訪問となった。

### 【ダナン港と川崎港との交流のあゆみ】

- 1991年6月 ダナン市長から川崎市長に友好港交流について打診  
（平成3年）
- 1991年8月 川崎市代表団がダナン市およびダナン港を訪問  
（平成3年）（団長 港湾局長）
- 1992年5月 ダナン市副市長が川崎市を訪問、仮調印  
（平成4年）
- 1994年1月 川崎市代表団がダナン市を訪問、本調印

(平成6年) (団長 笹田助役)

2004年3月 川崎市代表団がダナン市を訪問、交流確認書の調印

(平成16年) (団長 鈴木副市長)

2007年10月 ダナン市人民委員会長と川崎市長は両都市の協力

(平成19年) を強化することを目的とした経済協力に関する覚書に調印

ダナン港と川崎港との交流は、平成7年12月のダナン港からの研修生受け入れに始まり、平成27年末までにダナン港から14回、延べ33人の職員を受け入れ、川崎港からは9回、延べ22人を派遣している。

## 【ダナン市訪問】

表敬訪問では、ダナン市人民委員会代表、人民委員会委員で文化社会部長、経済予算部長、司法部長、都市部長、観光局副局長、福祉センター長、ハイテクパーク管理委員会委員長、ダナン港施設部長、外務局副局長（ダナン市日越友好協会副会長）を始め、多くの方にご列席いただき、意見交換会を実施した。

ダナン市人民委員会代表からは、ダナン市の概要、人民委員会の組織について説明をいただいた。ダナン市は人口約100万人の都市であり、面積は約1,283km<sup>2</sup>を有している。特徴としては、ベトナム中部の中央直轄市であり、ベトナムの主要な港湾都市であるということ。ベトナム中部最大の商業都市であり、国際空港及び国際港を有している経済・文化の中心地である。

人民委員会の組織としては4つの部があり、文化社会部、経済予算部、司法部、都市部で構成されている。ダナン市の人民委員会委員は、45名で構成されている。

ダナン市には128社の日本法人が進出しており、電子部品などを中心に投資が進み、総投資額としては5億米ドルにまで及んでいる状況である。日本の協力を得て進めているリエンチェウ港の新設は完成が待ち望まれ、ダナン市においては、経済発展のため非常に重要な港と位置付

けられている。また、人民委員長からは、日本とベトナムの文化交流祭りが2014年から実施されているため、ぜひ川崎市議会視察団の団員にも出席し、積極的な文化交流をしていただきたいとのご挨拶をいただいた。

本視察団としては、ダナン市とダナン港を今回の視察における重要な視察先の一つとして認識していることを伝えた。1994年に友好港の締結後、ダナン港と川崎港との交流は、1995年のダナン港からの研修生受け入れに始まり、平成27年末までにダナン港から14回、延べ33人の職員を受け入れ、川崎港からは9回、延べ22人を派遣している。こうした長年の経緯があるものの、いまだに定期航路の新設がされていないことなど様々な課題があると認識しているが、両港が連携し諸課題の解決に向けて共に進み始めたいとの意思を伝えた。



ダナン港の概要について説明する担当

## 【意見交換等】

Q1： 2018年の日越外交関係樹立45周年に向けて、川崎市と

しても、ぜひできるところから交流していきたいと考えている。  
今後の交流に関して、しっかり検討したい。

A1： その意見に感謝したい。今後ともぜひ検討をお願いしたい。



意見交換の様子

## 【総括】

友好港であるダナン港の状況や日系企業の利用状況等を調査し、川崎港との定期航路の可能性について展望することを目的に視察を行う中で、ダナン港が今後さらに取扱高を増やしていくための課題について確認することができた。具体的には東西経済回廊をさらに効果的に使えるように税関やインフラ面を含めた様々な諸課題に向き合っていく必要があること、さらには国として物流機能そのものを高めていく必要があることを確認できた。

また、定期航路開設に向けては、両市間の良好な交流関係を継続することも大切なことであり、ダナン市人民委員会からは、2014年以降、毎年開催されている文化交流祭りに参加してほしいという積極的な話を

いただくことができた。

今回の視察を通じて、ダナン市との交流強化に向けた川崎市の姿勢を表明することができたと感じた視察であった。



Huynh Duc Tho 氏 (Chairman of People' s Committee of Da Nang City) と坂本団長



視察後にダナン市役所前で撮影した集合写真

<報告書作成にあたって使用した参考資料等>

- ・国際機関日本アセアンセンター（東南アジア諸国連合貿易投資観光促進センター）発行、ASEAN 情報マップ
- ・ASEAN 概況（World Economic Outlook Database , Oct2015(IMF)の情報をもとにした JETRO 作成資料
- ・アジア地域に関する情勢 ベトナムを中心としたシンガポール、タイ、ラオス等 ASEAN について JETRO 作成資料